

作業学習（農業・メンテナンス）学習指導案

三原特別支援学校
指導者 多田 麻美（T1）
加藤 龍之介（T2）

- 1 日時 令和7年10月28日（火）第3校時（10:05～10:50）
- 2 学部・学年・学級 高等部 第1学年農業・メンテナンス②グループ（計6名）
- 3 場所 高等部 第1学年1組教室、生徒玄関前廊下、プレイルーム前廊下
- 4 単元名 「販売・清掃に向けてI-②」

5 単元設定の理由

○生徒観

本作業学習グループは男子3名、女子3名の計6名の単一障害学級の生徒である。生徒の半数が一般就労を希望している（生徒C・E・F）。ほとんどの生徒が口頭による簡単な指示を理解できるが、指示内容が複数あるいは、抽象的になると理解が難しくなることも多い。また、口頭よりも、写真や動画で視覚的に示す方が理解しやすい生徒もいる（生徒A・B・D）。さらに経験不足により、自分で考えたり、行動したりすることを苦手とする生徒もいる（生徒B・C）。

本グループは高等部第1学年の学年課題別グループであり、3学級の2名ずつが所属している。課題別グループとしての活動がスタートしたのは9月からである。

これまでの作業学習では、生徒は4月から7月にかけて、所属学級ごとに4つの作業学習（メンテナンス、農業、食品・接客、布工・クラフト）を各24時間程度体験してきた。その中のメンテナンス作業体験では、効率的に食堂清掃する方法を役割分担や清掃手順の面から生徒たちが考え、実行した。

9月からの本作業学習グループでは、清掃作業に取り組んできた。清掃作業では、テーブル拭き、自在ぼうき、モップ、ダスタークロス等の技能向上、校内清掃、食堂清掃、会場準備や製本作業等の外注作業に取り組んできた。生徒にはそれぞれ得意な清掃分野があり、得意を生かしながら協力して作業を行ってきた。校内清掃では、清掃場所をきれいにする方法を役割分担や清掃手順の面から生徒同士で考え、取り組んできた。食堂清掃では、清掃技能向上に努めながら、教員が清掃の動線を伝えることでスムーズに体が動くことを実体験する場として取り組んできた。外注作業では、生徒たちが作業手順や役割分担を行い、効率的に作業する方法を考え、実践してきた。

しかし、チームとしての協働作業については課題がある。協働するために自分がどうすべきか考えが及ばなかったり、メンバーの問いかけに対して反応できななかったり、発言した生徒の言葉に同調したりするだけになる生徒もいる。また、相手やグループのことを考えて発言をしたり、気遣いができたりする一方、相手の反応の薄さに対してストレスを感じてしまう生徒もいる。

卒業後を見据え、良好な人間関係を築きながら、責任をもって円滑に仕事ができる方法を学習中である。

○単元観

特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編（上）（高等部）（平成31年）において、作業学習は、「作業活動を学習活動の中心にしなが、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。」と示されており、その指導の中心は職業科の目標及び内容となる。指導に当たっては、「(ア) 生徒にとって教育的価値の高い作業活動等を含み、それらの活動に取り組む意義や価値に触れ、喜びや完成の達成感が味わえること。」や「(エ) 知的障害の状態等が多様な生徒が、相互の役割等を意識しながら協働して取り組める作業活動を含んでいること。」等を考慮して進める。

本単元では、清掃に取り組み、職業1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)「意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現すること。」、イ職業(ア)④「使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。」及び(イ)⑦「作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現すること。」を取り扱う。

清掃は、広島県特別支援学校技能検定で示されるように清掃道具の使い方の基本が定まっており、どの生徒も普段から清掃の経験があるため、取り組みやすい。また、同じような清掃場所でも汚れ方によって清掃方法や手順が異なる。そのため、清掃技能向上を目指すだけでなく、「きれいになる方法」を清掃道具や汚れの種類、清掃場所、清掃メンバーの得意作業によって様々な視点で考えたり、一人で行う場面や協力する場面を設定したりすることもでき、多様で発展的な活動を展開できる。

○指導観

本校では「三原版 作業学習で身に付けたい力」を設定しており、清掃技能を高めることのみを目標とするのではなく、卒業後の職業的自立に必要な力を身に付けられることを念頭に置き、次の内容により指導していく。

●既習事項をいつでも確認できるよう、Google classroom を活用する。Google classroom には、清掃道具図鑑、清掃道具お手本動画、作業日誌、作業計画書を保存し、今までの活動をヒントに新たな課題に取り組めるようにする。清掃道具図鑑は、各清掃道具がどのような汚れや場所に適切かをまとめたものである。清掃お手本動画は、教員が自在ぼうき、モップ、ダスタークロスを試技を行う様子が分かるものである。作業日誌は毎時間、作業内容や目標等を記入しているものである。清掃計画書は、清掃手順や役割分担を生徒が整理しやすいように表にしたものである。

●清掃内容のイメージがもてるよう、清掃計画書に清掃場所や汚れの種類を事前に写真で示す。

●汚れや清掃場所に合った清掃道具を選択できるよう、清掃道具図鑑を活用できるようにする。

●清掃道具図鑑を使用し、取り組みたい作業を選択しやすくする。

●作業のイメージがもてるよう、過去の作業内容を確認しながら清掃計画を作成できるようにする。

●生徒が相談をしたり、教員がアドバイスしたりしやすいように、グループに1名教員を配置する。

●生徒が自分たちで立てた清掃計画が理解できているかを確認するため、相談役の教員とは別の教員に清掃計画を説明する場面を設定する。

6 単元の目標

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培や清掃作業等に関する学習を通じて、「三原版 作業学習で身に付けたい力」を身に付けることができる。 農作業や清掃作業等に必要の基礎的スキルを身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の使い方を工夫しながら安全に作業することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 責任をもって、担当する作業を行おうとする。

7 指導計画 (全56 時間)

	指導計画	時 数	評価の観点		
			知	思	主
第1次	野菜の栽培、清掃基礎	28 時間	◎	○	
第2次	校内清掃、受注作業 (環境整備、会場設営、事務作業等)	本時10 時間目 / 21 時間		◎	○
第3次	月1 ミーティング等	3 時間	○		◎

8 本時の目標

○全体の目標

●作業時間15 分以内を想定して効率的に作業できる方法を考え、清掃計画を作成することができる。

●自分の考えや意見を伝えることができる。

○個別の目標

生徒	これまでの様子	目 標
A	<ul style="list-style-type: none"> ○口頭指示を聞いて動いたり、口頭で自分の意見を伝えたりすることは苦手であるが、視覚支援があると行動しやすい。写真等で視覚的に選択肢を示すと、表現しやすい。 ○新しいことは見通しがもてず拒否してしまうが、見通しがもてたり、経験したりしたことがある内容であればスムーズに取り組むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真に示された汚れを見付けようとする。 ○自分が取り組みたい清掃道具をグループのメンバーに伝えることができる。

	<p>ができる。</p> <p>○お手本があればモップとダスタークロスが実施できる。</p>	
B	<p>○経験したことがあることについては、すぐに意見を言ったり、行動したりすることができる。自分から主体的に行動したり、意見を伝えたりすることは苦手であるが、単純な質問には答えることができる。</p> <p>○経験のないことや自分の考えが必要な質問には無言であったり、「分かりません。」と言って会話が終わってしまったりすることが多い。</p> <p>○ダスタークロスを一人で適切に実施することができる。</p>	<p>○汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できる。</p> <p>○清掃計画の立案のための話し合いの中で、自分の考えを伝えようとする。</p>
C	<p>○質問に対して、答えの選択肢を示されると、選んで答えることができる。また、経験のあることであれば自分がしたいことは伝えることができる。</p> <p>○成功体験が少なく、目標達成のために何が必要かを自分で考えて行動したり、相手に伝えたりする意欲が少ない。</p> <p>○ダスタークロスを実施することができるが、作業精度は低い。</p>	<p>○汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できる。</p> <p>○清掃計画の立案のための話し合いに参加しようとする。</p>
D	<p>○活動に対して意欲があり、やるべきことが分かると積極的に取り組むことができる。</p> <p>○自分で状況を判断して行動することは難しいが、周囲の状況を見て行動することができる。しかし、状況に合わせた適切な言動を選択することが難しい。また、抽象的な質問に答えることは苦手であるが、具体的に質問すると答えやすくなる。</p> <p>○ダスタークロスの経験が多いが、作業精度は低い。</p>	<p>○見付けた汚れを、グループメンバーが分かるように伝えようとする。</p> <p>○自分が取り組みたい清掃道具をグループのメンバーに伝えることができる。</p>
E	<p>○効率的な方法を考えて積極的に発言することができるが、周りの意見に流れやすい。作業や発言に自信がないため、教員の方を見て確認する様子や発言力のある生徒に頼る様子が見られる。</p> <p>○伝えたいことがまとまらず、順序良く説明することが苦手である。質問されたことには答えることができる。</p> <p>○モップの経験が多く、精度はやや高い。</p>	<p>○自他の意見を取り入れた清掃計画を作成しようとする。</p> <p>○グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように順序良く説明することができる。</p>
F	<p>○作業を行う上での効率的な方法を的確に考えることができる。自分の考えを積極的に発言することは少ないが、教員が促すと発言することができる。</p> <p>○周囲への気遣いができる一方、自分の意見を後回しにしてしまう。自分の伝え方に対する相手の反応が薄いと、自分の伝え方が悪かったと責任を感じ、意欲が低下することがある。</p> <p>○清掃作業に意欲的に取り組むことができる。清掃技術が高く、特にモップの精度が高い。</p>	<p>○自他の得意作業を考慮した清掃計画を作成しようとする。</p> <p>○グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように自分の言葉で説明することができる。</p>

9 準備物

教員用タブレット、生徒個々のタブレット、プロジェクタ、ミニホワイトボード4枚、ホワイトボードペン赤・青・黒 各2本

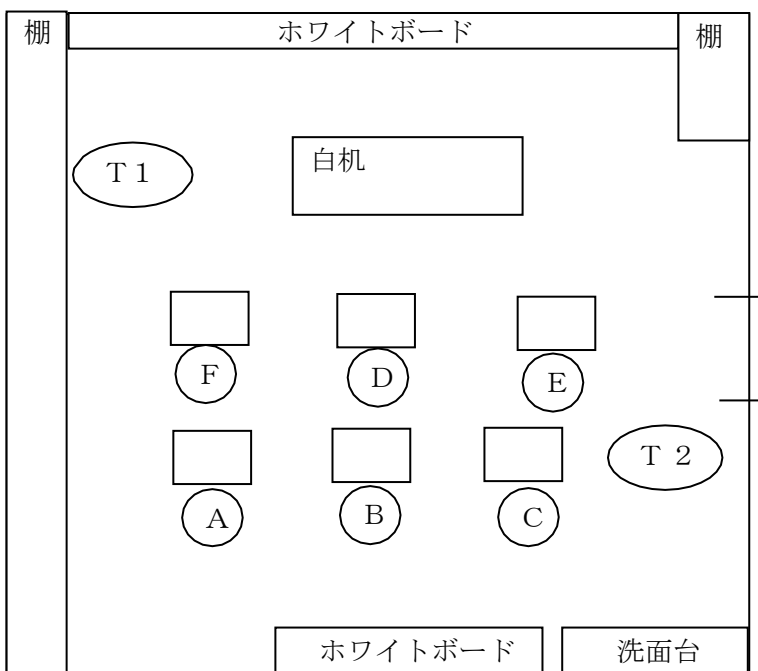
10 学習過程 (別紙参照)

11 評価の観点

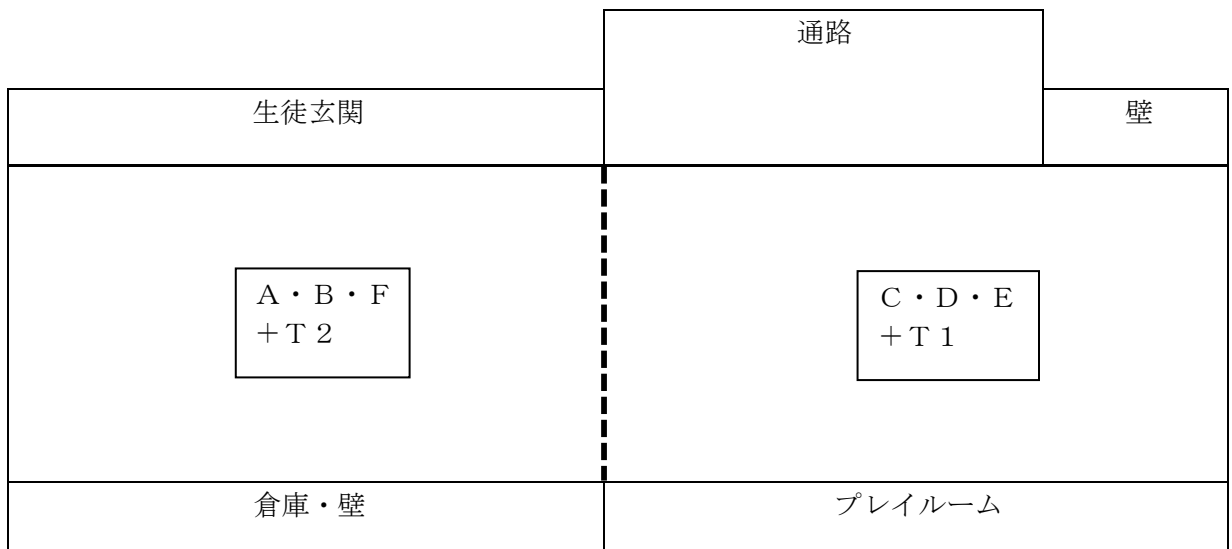
- 個に応じた指導をしていたか。
- 本時の目標は達成されたか。

12 教室内配置図

高等部第1学年1組教室 (朝礼・振り返り・終礼)



計画場所 (生徒玄関前廊下、プレイルーム前廊下) ※朝礼後に移動



10 学習過程

学習活動	指導上の留意事項 (□課題 ○支援 ☆評価)						全体における留意点
	A	B	C	D	E	F	
<p>1 作業日誌を確認する。(チャイムが鳴るまでに)</p> <p>2 朝礼をする。(5分)</p> <p>3 清掃計画を立てる。(25分)</p>	<p>写真に示された汚れを見付けようとする。</p> <p>○探すべき汚れに注目できるよう、汚れが示された写真を提示する。 ☆廊下を歩いて、汚れを探す姿があったか。</p> <p>自分が取り組みたい清掃道具をグループのメンバーに伝えることができる。</p> <p>○道具を選択しやすいよう、清掃道具が示された写真を提示しながら道具の名前を読み上げ、どちらがいいか問う。 ☆自分が取り組みたい清掃道具を選択し、声に出して伝えることができたか。</p>	<p>汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できる。</p> <p>○何が必要かを考えやすくなるよう、過去の清掃計画や清掃道具図鑑を見るよう伝えたり、汚れの種類を伝えたりする。「Bさんが意見を言います。」と教員がメンバーに伝える。 ☆汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できたか。</p> <p>清掃計画の立案のための話合いの中で、自分の考えを伝えようとする。</p>	<p>汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できる。</p> <p>○どの道具が必要かを考えやすくなるよう、汚れの一つに注目させ、過去の清掃計画や清掃道具図鑑を示す。発言するタイミングが分かるよう、「Cさんが意見を言います。」と教員がメンバーに伝える。 ☆汚れを落とすための適切な清掃道具を選択し、グループメンバーに提案できたか。</p> <p>清掃計画の立案のための話合いに参加しようとする。</p>	<p>見付けた汚れを、グループメンバーが分かるように伝えようとする。</p> <p>○汚れを見付けたら、「Cさん、Dさん汚れがありました。」と言うことを個別に伝える。 ☆グループメンバーの名前を呼んだり、指差しをしたりして伝えようとする姿があったか。</p> <p>自分が取り組みたい清掃道具をグループのメンバーに伝えることができる。</p> <p>○選択しやすいよう、清掃計画の中で必要な清掃道具を読み上げ、どれを希望するかみんな</p>	<p>自他の意見を取り入れた清掃計画を作成しようとする。</p> <p>○自他の意見を取り入れられるよう、「CさんやDさんの意見を聞いてみたら?」「Eさんの意見は?」と教員が適宜質問する。 ☆自他の意見を取り入れようとする発言や清掃計画書に意見を反映しようとする姿があったか。</p> <p>グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように順序良く説明することができる。</p>	<p>自他の得意作業を考慮した清掃計画を作成しようとする。</p> <p>○自他の得意作業を考慮できるよう、教員がAやBの得意作業を伝えたり、F自身を取り組みたい作業も取り入れて良いことを伝えたりする。 ☆自他の得意作業を清掃計画書に取り入れようとする発言や清掃計画書に反映しようとする姿があったか。</p> <p>グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように自分の言葉で説明することができる。</p>	<p>○チャイムが鳴るまでにタブレットで作業内容と本時の目標を確認するよう促す。</p> <p>○チャイムと同時に朝礼が始められるように日直に準備するよう言葉掛けする。</p> <p>○A・B・Fグループ、C・D・Eグループで清掃計画を立てる。A・B・FグループにT2、C・D・EグループにT1を相談役として配置する。</p> <p>○A・B・FグループはT1、C・D・EグループはT2に清掃計画を説明する。</p> <p>○生徒玄関、プレイルール前廊下に移動して計画を立てるよう移動するよう促す。</p>

<p>4 振り返りをする。 (10分)</p> <p>5 終礼をする。 (5分)</p>		<p>○考える視点が定まるよう、清掃計画書の中の考えるべき項目を指差す。 ☆清掃計画の立案のための話合いの中で、自分の考えを発言する姿や教員やメンバーに自分の意見を伝える姿があったか。</p>	<p>○話合いに意識が向くよう、考えるべき内容を個別に伝え、意見を言うタイミングを予告する。D・Eが発言する際には、D・Eの方を見て聞くように促す。 ☆清掃計画の立案のための話合いの中で、グループメンバーの方を向いて発言したり、メンバーの発言に対して反応したりする姿があったか。</p>	<p>なに伝えるよう促す。 ☆自分が取り組みたい清掃道具をグループのメンバーに伝えることができたか。</p>	<p>○順序良く説明できるよう、どの順番で説明するかをグループのメンバーで確認するよう促す。 ☆グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように順序良く説明することができたか。</p>	<p>○説明内容が整理できているかを確認できるよう、グループのメンバーに説明を聞いてもらうよう促す。 ☆グループで作成した清掃計画を、報告相手が分かるように自分の言葉で説明することができたか。</p>	
--	--	--	---	--	--	--	--

参考「三原版 作業学習で身に付けたい力」一部抜粋

チェック項目	内容	評価段階			
		25%	50%	75%	100%
		1 (できない・ない)	2 (あまりできない・あまりない)	3 (だいたいできる・だいたいある)	4 (できる・ある)
身だしなみ	場に合った服装をし、清潔であるなど身だしなみがきちんとしている。	身だしなみが整っていない。	身だしなみが整っている。	身だしなみが整い清潔である。	場に合った服装を意識し、身だしなみが整い清潔である。
規則の遵守	規則やルール、決められたことを守る。	規則やルール、決められたことを守らない。	注意されれば規則やルール、決められたことを守ることができる。	規則やルール、決められたことを常に守る。	規則やルールを理解し、決められたことを常に守る。
危険への対応	危険と教えられたことをせず、自分の安全を考えて行動する。	危険への対処が難しい。	注意されれば自分の安全を考えて行動する。	自分の安全を考えて行動する。	周囲の状況から危険を予測し、自分の安全を考えて行動する。